

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

寛骨臼形成不全における関節唇の変化

1. 研究の対象および研究対象期間

2014 年から 2024 年に昭和医科大学病院、昭和医科大学江東豊洲病院整形外科に股関節痛で受診し、画像検査にて臼蓋形成不全を認めた患者さん。ただし変形性股関節症の病期が進行期以上の方を除く。

2. 研究目的・方法

寛骨臼形成不全は、寛骨臼（股関節の受け皿）の被覆が不十分な状態を指し、股関節の不安定性や、関節軟骨・関節唇への負荷の増加を引き起こし、放置すると早期の変形性股関節症へと進行するリスクがあると考えられています。寛骨臼形成不全をもつ患者さんの関節唇は、力学的負荷が増加により代償的に肥厚・変性することが報告されています。しかし、レントゲンなど画像所見での臼蓋形成不全の重症度を示す指標と、関節唇の変化がどのように関連しているか、定量的に示した研究がまだ多くありません。

本研究は、当院とその関連施設で寛骨臼形成不全の患者さん既存の画像情報を用いて、臼蓋形成不全と関節唇変化の関連を調査します。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 9 月 30 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（性別、年齢、身長、体重）

画像検査（レントゲン、MRI）

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和医科大学病院 氏名 吉川泰司

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学 医学部 整形外科学講座

氏名：西田 甫

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8543